



2026 年 9 月 14 日

各 位

会社名 株式会社クラシコム
代表者名 代表取締役社長 青木 耕平
(コード番号：7110 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 山口 揚平
(TEL 042-577-0486)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、取締役会において、以下のとおり、2026 年 7 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて 2026 年 9 月 14 日に決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2026 年 6 月 15 日公表)	前期実績 (2024 年 7 月期)
基準日	2026 年 7 月 31 日	2026 年 7 月 31 日	2025 年 7 月 31 日
1 株当たり配当金	55 円 00 銭	55 円 00 銭	48 円 00 銭
配当金総額	405 百万円	—	353 百万円
効力発生日	2026 年 10 月 30 日	—	2025 年 10 月 30 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社では TSR(株主総利回り)を重視した株主還元を行う方針とし、成長と株主還元のバランスを考慮したダイナミックな株主還元を行うことで TSR の安定を図る事を目指しており、安定した経営に必要なキャッシュポジションの観点から還元可否及び還元規模の判断を行っております。また、投資局面においては投資を優先する必要があるため、利益ではなく配当原資は FCF(フリーキャッシュフロー)を基準とし、当面はその 50%を上限といたします。これにより株主還元、成長投資、内部留保による財務基盤の強化のバランスの取れた配分が可能になると考えております。

具体的には、当事業年度末ネットキャッシュ(現金及び預金-借入金)とキャッシュポジションの目標水準(広告宣伝費を除く当事業年度販売費及び一般管理費×2(2 年分))を比較し、キャッシュポジションが目標水準を上回っている場合には、還元可と判断します。その上で当期 FCF の 50%を原資に還元を行います。キャッシュポジションが目標を下回らない範囲で行うため、FCF の 50%が上限となります。

この方針に基づくと総還元額は 546 百万円となりますが、そのうち 405 百万円は配当による株主還元の原資とし、当期の期末配当金につきましては 1 株当たり 55 円とすることを決定いたしました。

(ご参考) 年間配当の内訳

	1 株あたり配当金 (円)		
基準日	第 2 四半期末	期 末	合 計
当期実績	0 円 00 銭	55 円 00 銭	55 円 00 銭
前期実績 (2025 年 7 月期)	0 円 00 銭	48 円 00 銭	48 円 00 銭

以 上